

おおくら 議会だより



寒さに負けるな冬桜 (清水城址)

もくじ

年頭のあいさつ	2P
12月定例会	3P
一般質問	4～9P
あれからどうなった?	10P

風水にふれる里
第 **126** 号
2021.新春

発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報調査特別委員会 年4回発行
発行責任者／議長 鈴木君徳
印刷／共栄印刷株式会社

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本村議会活動につきましては、日頃より格別なご支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は雪もなく過ごしましたが、新型コロナウイルスにより、日本はもとより世界中が計り知れない不安で始まった一年だったと思います。

我々議会も思うように活動できず、また、村の行事等も中止や延期になった一年でした。そんな中起きた7月豪雨では今まで経験したことがないような甚大な被害となってしまうしました。被害にあわれた皆様に心より御見舞い申し上げます。

さて、村の基幹産業の稲作については水害を受けた地域を除いて、平年並み。園芸作物については高値で取引されたことが唯一の救いでした。

この先、益々地方財政は厳しさを増しますが、農業をはじめ産業・観光業の振興・少子高齢化対策・人口流出の抑制等に一層努力していきます。

さて、今年の干支は「うし丑」。牛は酪農や農業で大変な農作業を最後まで手伝ってくれたことから、「我慢（耐える）」「これから発展する前触れ（芽が出る）」という年になるといわれています。新型コロナウイルスが終息し、村民の皆様に幸多き一年となります様に御祈念申し上げます。

議長 鈴木 君徳

本年もよろしく
願います。

議長 鈴木 君徳

副議長 矢口 智

議員 長南 正一

〃 八 鋤 信一

〃 海 藤 邦夫

〃 佐 藤 勝

〃 加 藤 忠己

〃 早 坂 民奈

〃 佐 藤 雅之

〃 齊 藤 光雄



12月定例会が3日から4日にかけて開催され、令和2年度補正予算7議案を含め、12議案を審議・可決。一般質問では5人が道路整備や防災の問題等村当局の考えをたどしました。

条例等の改正

◆大蔵村税条例の一部改正
(コロナウイルス関連等、地方税法改正に伴うもの)

◆大蔵村国民健康保険税条例の一部改正
(国の地方税法改正に伴うもの)

◆最上圏域下水道共同管理協議会規約の一部変更
(関係市町村の管理費の負担割合を変更するため)

◆へき地診療所設備整備事業備品の購入契約
(診療所の胃力メラが新しくなります)

人事案件

●人権擁護委員候補者の推薦
★後藤昌宏氏 (清水)

令和2年度予算

★令和2年度補正予算7議案を可決
(災害復旧、防災無線の更新等)

一般会計

問 鳥獣捕獲箱設置費用補助金は、設置に係る費用だけの補助なのか。

答 熊の出没が増えている中で補正予算罌の設置、捕獲、撤収を合わせて一件とみて補助をする。

問 防災無線拡張機能整備委託の具体的な内容は。

答 接触感染の予防も図るため、家庭のスマートフォンなどにアプリをダウンロードすることにより、これまでの音声情報に加え、文字や画像情報を「拡張機能」としてデジタルで提供。

特別会計

●公共下水道事業

問 夏の水害での肘折公共下水処理施設の被害状況は。

答 処理場が冠水し、地下室が水没。備品等の交換も必要。今回の災害支援協定に基づく業務委託で対応する。

●へき地診療所

問 診療収入が七百六十五万円の減額補正となっているが、原因は。

答 コロナによる受診の抑制も考えられる。前年に比べ、これまで十六%の収入減となっているが、今後の回復も見込みこの減額補正となっている。診療所の消毒等を徹底する。



12月補正の詳細

	補正額	総 額	主な補正内容
① 一 般 会 計	1億3100万円	48億2370万円	防災無線整備、ふるさと納税の増等
② 国民健康保険	490万円	4億2370万円	保険税等の増
③ 簡 易 水 道	198万円	2億2890万円	災害復旧費等の増
④ 下 水 道	1億3570万円	3億1440万円	肘折下水場災害復旧費の増
⑤ 診 療 所	▲574万円	2億3390万円	診療収入の減等
⑥ 介 護 保 険	▲63万円	5億110万円	保険料等の増減
⑦ 浄 化 槽	4.8万円	3290万円	浄化槽管理費の増

各議員より多くの質問があるが、村運営にどのように反映しているのか疑問が残る。議員各位が村民の要望を聞き調査をし、質問や提言をする。それに村長が答弁することになるが、議員は質問するだけで、村長は答弁するだけで、お互い質問の検証や検討した結果の議論が少ない。大枠が決まっているとは言え、これでは何のための議会なのか分からない。多くの質問の

中から3点について伺いたい。
問1 村道に認定されている未着工の路線は幾つか。高齢化が進む中、子育て支援や新規道路の建設も大事だが、豪雪の中、施設にも入れない高齢者を考えれば、最も重要な問題と思うが。
答1 財政や規制の問題、更に合海・大坪線等に多額の費用を要し、村道や生活道路全てを整備することは難しい。残りの分は順次整

問2 三和食品は計画通り運営されているのか。誘致条件として、村内の生産物を使い、加工販売をする生産組織を立ち上げ山間地農業の振興と、従業員は10名採用し、雇用対策を図る計画だった。また、多額の投資をして年間50万円の賃借料だけでいいのかという意見もあるが現状を伺いたい。
答2 現在23名中6名が村内採用、農業振興では、誘致前から四ヶ村地区を重点に栽培・受入れ体制などの説明会を開催したが、成果はなかった。本年は、わらび・大葉などの出荷があり、更に、規格外のトマトを加工販売し評判は良い。今後目標に向かい事業を進める為に生産者の理解を求めたい。
問3 ふるさと納税の活用は、ふるさとを想い少しでも村の手助けをしたいと思



答3 令和元年の実績は、6,616件で、金額は約1億7,000万円であり、寄付金を頂いた方には、希望の返礼品を寄付額の3割以内で送付している。事務手数料や送料合わせて2割程度、残り5割弱を村の財源として教育や産業の振興に活用している。

う心が納税という形になり、村でも感謝を込めて返礼品を送るのが主旨である。また、返礼品は村の農産物や特産物販売の活力になっている事は評価したい。これらを踏まえて納税者の思いを無駄無く活用すべきと思うが？

望の返礼品を寄付額の3割以内で送付している。事務手数料や送料合わせて2割程度、残り5割弱を村の財源として教育や産業の振興に活用している。

質問の検証と検討結果の議論が大事 村長 意見や要望を村政運営の指針に



佐藤 勝 議員

ここが知りたい 村政を問う

一般質問
12月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

「事故なく、住民の道を守る」、大蔵村村道除雪出動式
(11月19日、稲沢除雪ステーションにて)

5議員が一般質問

5P 佐藤 勝 議員

- 村道に認定された路線で未着工はいつか
- 三和食品は計画通り運営されているのか
- ふるさと納税の件数、金額とその活用は

6P 八鍬 信一 議員

- 村歴史資料の常設展示を
- 元赤松小学校の記念碑建設は

7P 佐藤 雅之 議員

- 検査費助成で高齢者等へのPCR検査等を拡大する考えは
- 災害等を受け升玉小水力発電の見通しは

8P 早坂 民奈 議員

- 防災、避難所運営の今後の課題と対策
- 診療所2階へのアクセスは

9P 斉藤 光雄 議員

- 豪雨災害は毎年やって来る





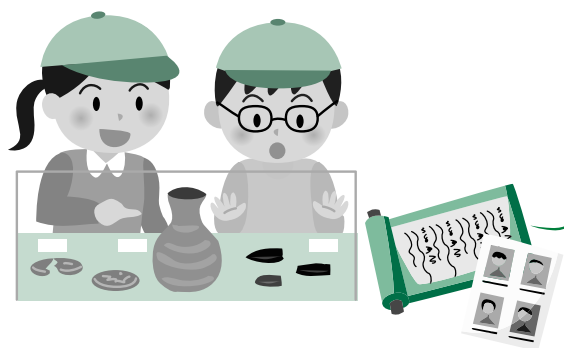
八鍬 信一 議員

「村歴史資料の常設展示」

村長 教育委員会意向に沿う
教養 今後十分に検討

が、保管展示は教育委員会の所管施設であり、委員会の意向に沿って対処したい。
教育長 現在赤松生涯学習センターの展示コーナーでは、地域に貢献された人物の紹介、貴重な資料や書籍等展示している。
空室利用の展示というところですが、施設として宿泊研修・会議室・トレーニング施設等使用しており、常設展示は難しいのが実情である。

担当部所としては今後十分に検討して行きたい。



問 平成18年4月の小学校3校統合について村との覚書があり、その要項に「記念碑の建立」と学校の「歴史的資料の保存展示」とあるが、元赤松小学校についてはいまだに実施されていない。

答 閉校時に展示した写真・資料等も多くあったわけなので、これらの展示と記念碑の建立を約束どおり実施するべきである。



答 旧赤松小学校は、生涯学習センターとして、地域のシンボルとして継承されている。
当時の覚書には、記念碑の建立は村と学区民代表が協議し計画するところだが、協議の場がないままに現在に至ったものと推察する。
今後学区の皆さんと話し合いの場を設け検討したい。

「旧赤松小学校の記念碑建立」 村長 学区の皆さんとの話し合いで検討

一般 質 問

問1 大蔵村には「清水城」という歴史的文化があり、それらにかかわる資料が中央公民館の他いろいろな場所に拡散している。時がたてばその資料についても継承されずに紛失消滅してしまう心配がある。

鉾山・修験・歌人・歌碑・写真・絵画・出土品等がある。現在、赤松生涯学習センター多目的ホール一角に展示部分があるが、全てを展示することは不可能であり、2・3階の空室を利用した展示はできないのか。

答1 村長 貴重な歴史資料が継承されずに亡くなってしまふ心配があることや、保存していても損傷が懸念されること。貴重な歴史文化を後世に伝え継承することは大変重要と感じている

答1 村長 貴重な歴史資料が継承されずに亡くなってしまふ心配があることや、保存していても損傷が懸念されること。貴重な歴史文化を後世に伝え継承することは大変重要と感じている



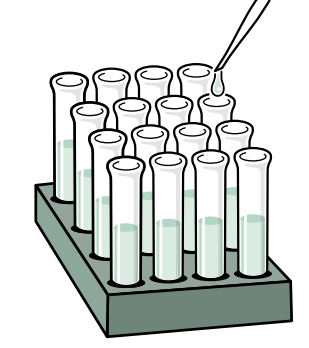
佐藤 雅之 議員

検査費助成で、高齢者等へのPCR検査の拡大図れ

村長 高齢者等へは国と村で2万円(合計)の助成を提案

問1 コロナウィルスは、全国的に第3波の様相を呈している。症状がなくてもPCR検査を受けることができ、不安の払しょくと感染の早期発見につなげられるのが理想。国も、高齢者や基礎疾患保有者を対象に市町村が(自由診療での)検査助成を実施する場合、一定の助成をするとしている。医療提供体制に配慮しながらも実施する考えはないか。

答1 この度の補正予算で、高齢者及び基礎疾患を持つ人を対象に自由診療の検査費用の一部の助成を提案する。国と村合わせて2万円の助成。



問2 村診療所では、自由診療の検査は、一回で4万円と聞いている。国の基準単価は2万円だが、単価そのものを引き下げられないのか。助成の対象者も一旦、4万円を窓口で立て替えることになるのか。若い世代にも検査費助成の対象を拡大する考えはないか。

答2 単価は、検討の結果、4万円で設定している。医療機関との契約の関係もあり、費用は一旦窓口で立て替え払いをしてもらうことになるが担当課と検討する。65歳未満の世代への費用助成は考えていない。

答1 技師については、入国できない場合、リモートでの立会を調整。系統連携先の変更に伴う費用負担は百万円に満たない額と聞いている。工事が未完成であるため、会社として、まだ銀行団から(工事費用などの)融資は受けていない。令和3年8月の発電開始を目指す。



建設中の升玉小水力発電(水車)

災害等を受け、 升玉小水力発電の今後の見通しは

村長 令和3年8月の発電開始を目指す

問1 コロナウィルスの蔓延や柳瀬地内の地滑りで当初の発電計画の変更を余儀なくされたが、事業開始に必要な外国人技師の入国・立会いの見通しや目的会社としての新たな費用負担、銀行団等への借入金返済等問題はないのか。

答1 技師については、入国できない場合、リモートでの立会を調整。系統連携先の変更に伴う費用負担は百万円に満たない額と聞いている。工事が未完成であるため、会社として、まだ銀行団から(工事費用などの)融資は受けていない。令和3年8月の発電開始を目指す。



早坂 民奈 議員

防災・避難所運営の

今後の課題と対策

村長 自主防災組織の共助も 大切

問1 豪雨災害では避難所運営、自主防災への課題が多く見受けられた。その後検討を重ねたと思われるが、具体的にはどうするのか。又、豪雪地帯の当村の冬の対策は？

答1 災害の種類や規模に応じた避難所開設と備蓄品の拡充、職員がスムーズに開設・運営できるよう準備を進めている。水難用ボートの配備を次年度に向けて検討中。食料について

は、長期に及ぶ場合、役場調理師職員による炊き出しも考えている。しかし全て村で対応するのは困難であり、自主防災組織を中心とした共助も大切になってくる。冬の対策として、暖房については、電力の供給が途絶えない限り指定緊急避難所は可能である。対流式や反射式のストーブの計画的な配備も図る。

問2 除雪や、避難弱者への対応は？



答2 除雪業者とは契約していないが考慮する。高齢者や避難弱者等の名簿は個人情報ではあるが、配備を検討する。しかし、村だけでなく住民一人一人が意識を持って避難して頂きたい。また、今年度中に、反省事項を広報で周知していく。

診療所2階へのアクセス

村長 職員のサポートで対応

問1 2階歯科の治療を受けたくとも足腰が弱く下りが出来ない。エレベーター等があれば良いが、という質問が以前あったが、予算・構造上の問題があり実現できずにいる。高齢者の占める割合が多い当村では、介護予防の点でも、口から物を食べる重要性も指摘されている。

2階へのアクセスを多方向から考慮し、実現できる対策を講じて欲しい。

答1 平成23年12月に質問を受け、既存施設の強度や施設内のスペース的な問題



ポータブルタイプ昇降機

もあり実現できずにいる。老朽化による各設備の更新や移転についても、財政状況を勘案しながら計画的に進めなければならないと考える。現状では、職員の手助けが必要な方は気兼ねなく申し出ていただきサポートしていく。

問2 工事もいらず、持ち運びできる可搬型階段昇降機があり、その中でもポータブルタイプは車いすに直接設置するタイプで避難所でも利用可能。是非とも購入を検討して頂きたいと提案する。



齊藤 光雄 議員

豪雨災害は毎年やって来る

村長 本災害を機にいち早く取り組み

●清水地区内水について

問 7月の豪雨災害で、以前よりの懸案等・脆弱さが改めて再認識され、458号線改築時の横断函渠及び最上川に隣接する排水樋管よりの流入が内水の原因と思われるが、函渠の入り口にゲートの設置が必要、並びに清水地内の堰に設置されたゲートの改修が、被害を軽減できると思うが。

答 ゲートの設置や改修については、現地を調査し検討する必要があると考える。

最上川に隣接する排水樋管（村管理）のゲートは増水時に閉めていた。

●避難所で住民の方々より声を聞き、以下について村長に問う

問1 避難所を目指す学校が暗く、校舎に明かりがほしかった。

答1 村と自主防災組織が共助し、検討を行い有事に備える。

問2 役場職員が私服ではなく、職員と確認できる制服で対応してほしい。

答2 避難所運営について、今後青色のビブス（ベスト）を着用し活動する。

問3 災害時に自主防災組織に、小中学校の給食室を使用できないか。

答3 炊き出し等の必要に迫られた場合、調理師職員に従事させる。

問4 形骸化している自主防災組織の強化が必要と思われるが。

答4 自主防災組織への研修を多く案内する。

問5 防災工学過程を学んだ職員の配置が必要と思われるが。

答5 新たな防災技能職員を配置してまでの対応は、村の現状に鑑み困難である。

問6 災害後の検証委員会の立ち上げが必要では。

答6 消防団幹部会並びに村全職員による検証の結果、150項目に及び検証結果が浮かび上がり、今後に備える。

問7 今回の災害による地

域座談会を開催してほしい。

答7 コロナ感染症の鎮静状況を見据え、安全に考慮しながら話し合いの場を設ける。

問8 今後役場庁舎並びに関連施設が機能不全に陥るのは必至で、村の基金だけでは村庁舎は改築できない。過去への投資でなく、未来への投資を兼ね、総合拠点として庁舎を改築し、住民

が安心安全な営みができるよう実施検討すべきでは。

答8 現在24時間対応が可能な対策を検討中であり、総合拠点と、いかなる災害にも対応可能な庁舎づくりを念頭に計画し、移転新築を視野に検討中。適切な用地の模索や、本災害を機にいち早く取り組んで行かなければならない事と認識する。



清水堰

あれから、どうなった?

検証・提言

No.6

今回は地域おこし協力隊について検証していきます。皆さんはどのような存在でどんな仕事をするのか知っていますか?

「地域を変える力になろう」

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲のある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。任期は1年以上3年未満（総務省）

地域おこし協力隊の目的の定義はまさに村にピッタリ当てはまります。最上地区の市町村には大蔵村を除いて複数の協力隊員がいます。

村でも募集はしていますが、かつて、1人の方が約1年で辞めており、その後は思うように決まらないのが現状です。

今まで何回かの一般質問に対し、
募集はしているが適任者がいない!!



果たしてそうでしょうか…

当村の募集要項は1、農業振興事業（将来就農希望）2、飲食業（そば店運営、カフェ・レストラン）3、地域デザイン振興事業（村のPR）の3点。

他町村は概ね同じ要項を含みますが、教育支援、体験支援、移住定住、地域スポーツ振興、婚活ウエディングプランニング、ゲストハウス運営型など町村のニーズに沿った募集を行っています。特に地域にとって最善と判断される活動としての**テーマフリー**が含まれています。それを踏まえ、募集要項を特化したままでは、集まらないのではないのでしょうか。これからも広い視野で必要性を提言していかなければと考えています。



後書き

一面、見通せる畑地風景であった村道合海大坪線に隣接する、茅野（かやの）の畑において農作業中ふと回りを見渡すと、秋風に吹かれた雑草地や茅地になっているのに気づかされました。



数年前までは見ることもない景色でした。もうすぐこの地においても、奥山と同様の熊の出没といった状況になるのではと危惧しています。また、耕作者の方々も村防災無線で清水地区において熊の出没放送以来、ラジオ音が聞こえるようになり、身の危険を察していると思っています。ここ数年村道の改築で人通りがないのも要因でしょうか。茅野の地名の由来とならない様、昔ながらの風景であってほしい。（斉藤 光雄）

議会広報調査 特別委員会

委員長	早坂民奈
副委員長	佐藤雅之
委員	矢口智
委員	斉藤光雄